学校番号	410

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「精選　現代文Ｂ　新訂版」　（大修館書店）						
副教材等	「日本文学史ノート　三訂版」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな文章を通して多様な考え方を学び、自分の考えを言葉にする力を身につけてください。
・論理的に読み取る、論理的に思考する訓練をしましょう。
・予習、復習を行い自学自習を心がけましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し，適切に表現する能力を高めるとともに，ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして，自分の考えを深め，発展させている。	必要な情報を用い，相手や目的，課題に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えを深め，発展させている。	文章を構造的に読み取り、読み取ったことをもとにして自身の考えを深め，発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め，知識を身に付けている。文章テーマに関する専門用語の意味を適切に理解している。
評価方法	提出物の内容、授業態度による。	提出物の内容、授業態度による。	考査の結果、提出物による。	考査の結果、提出物による。	考査の結果、提出物による。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	ミロのヴィーナス	対比・逆説・比喩などの表現技法を理解し、筆者の美についての発想をとらえる。 表現上の工夫を生かし、自分の感想をまとめ、考えを深める。	○			◎		ａ：比喩や逆説などの表現の妙を味わい、美術評論のおもしろさを感じ取っている。 ｄ：教材文の構成と論理的な構造を理解している。筆者がミロのヴィーナスのどのような点を評価しているのかを理解している。	提出物、考査による。
1	山月記	漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら内容をとらえ、描かれた人物、情景、心情などを読み味わう。 作品の主題を読み深め、自分自身を見つめ直す契機とする。	○		◎	○		ａ：小説を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人間、社会、自然などについて考えを深めようとしている。文体の特徴に注意を払い、その効果を理解しようとしている。 ｃ：作品を通して考えたことを、自分の考えを明確にしてまとめている。 ｄ：場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」とはどのようなものかを、文脈から読み取り、作品の主題を考えている。	提出物、考査による。
1	家族化するペット	ペットの家族化が示す現代社会の様相について読み取る。 読み取ったことをふまえて、社会の変化に対する自分の考えをまとめる。″	○			◎		ａ：現代社会の問題について、自分なりの問題意識をもって考えを深めている。 ｄ：「ペットを家族とみなす人」が増えている理由を、筆者がどのように説明しているのか読み取っている。 「ペットの家族化」に対して、社会はどのように対応すべきかについての筆者の考えを理解している。	提出物、考査による。

2	こころ	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。 ・印象に残った部分や、登場人物の生き方について話し合う。	○	○		◎	○	ａ：小説を読み、登場人物の行動や心情、情景などを味わっている。近代文学を読むことに興味をもち、積極的に他の作品に手を伸ばそうとしている。 ｂ：作品のテーマや感想などについて、積極的に話し合いに参加している。他人の意見を尊重して聞いている。 ｄ：作品のあらすじをつかみ、場面の展開を理解している。Ｋに対する「私」の気持ちの推移を、場面展開に沿って理解している。 ｅ：作者についての知識をもち、日本近代文学史の大まかな流れを理解している。	提出物、考査。授業中の取り組みによる。
2	敬語への自覚、他者への自覚	論理の展開や要旨を叙述に即して的確にとらえる。 「敬語」と「他者への自覚」との関係を論理として読み取り、筆者の主張について、自分の意見をもつ。	○	◎		○	○	ａ：敬語に関して、積極的に取り組もうとしている。 ｂ：筆者の主張に対する賛否を明らかにしつつ、自分の考えを述べている。 ｄ：文章の構成を理解し、内容の概要を把握している。「他者の距離」「モノローグ」「共通語」などのキーワードについて、理解している。筆者の、「敬語」が必要だという主張の内容を理解している。 ｅ：敬語について、概略を理解している。	提出物、考査による。

3	コミュニティから見た日本	論理的な文章を読んで、その論理の展開をたどり、筆者の主張を読み取る。 「コミュニティ」という視点から社会に着目し、そこに生きる人々の関係性を考え、社会への洞察を深める。	○			◎		ａ：論理の展開をとらえ、意欲的に読み進めようとしている。 ｄ：「個人主義」「コミュニティ」等の重要な概念について叙述に即して理解している。統計資料の趣旨や内容を、本文の内容と照らし合わせながら理解している。 ｅ：本文中の語句の意味を理解し、必要に応じて使いこなしている。	提出物、考査による。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。